

制服を着ている子が待合室に座っている光景をあたりまえにしたい！ 若い女性が気軽に立ち寄れる「ゆうびレディースクリニック」



女性のための本を読みながら
待合室でゆっくり過ごせます



医療法人優美会
ゆうびレディースクリニック
理事長・院長 窪田文香

“はたちの検診”してみませんか？

窪田文香院長に聞きました！

「子宮や卵巣の疾患は自分では気づきにくいものですか？」

子宮や卵巣のできものは良性・悪性を問わず自覚症状があまりないことが多く、かなり大きくなるまで気づかないことがあります。卵巣は膀胱などと同様、沈黙の臓器と呼ばれ、根本が捻れたり、破裂したりしない限りは自覚症状がないため、腕や脚は変わらず、お腹だけ妊婦のように膨らむほどになった卵巣腫瘍でも、本人はただ太ったかと思っただけで気づきませんでした。子宮筋腫がおへそを超える位置まで大きくなっていても、本人は「何となく」と思っていることもあります。

「早めに異変に気づくにはどうしたらいいのでしょうか？」

初めての婦人科受診は妊娠がきっかけとなることが多いのですが、妊娠してから子宮や卵巣に異変があることがわかると、かなり厄介なことになります。妊娠中のトラブルを防ぐためにも、妊娠や出産の前に自分の子宮や卵巣の状況を知っておくことはとても大事です。ブライダルチェックという言葉がありますが、婦人科は結婚が決まった段階で受診するのではなく、もう生理が来た段階で、結婚や妊娠はまだ先だと思っている時期からかかりつけを持つておくといいですね。婦人科の主な画像診断は超音波なので、痛くもなく、その場ですぐにわかりますよ。

「健康診断は毎年受けているのですが、婦人科検診は受けていませんか？」

婦人科検診は定期健康診断の内容に入っていないことが多いので、きっかけを見つけて婦人科にかかっておくことが大切です。20歳（4月1日現在）になると、各自治体から「子宮頸がん検診の無料クーポン」が送られてきますので、それをきっかけに受診するのもおすすめです。現代の20歳は結婚までまだ間がある人が多く、性交渉の経験もちらほら出てくる年齢なので、検診を受けるにはいい時期だと思います。無料クーポンの対象となる年齢は限られていますので、せっかくの機会ですから自己採取式や集団検診ではなく、施設健診で超音波

と組み合わせず診てもらおうと、自分では気づかなかつた症状や思いもよらない病気が見つかることもあります。

「婦人科系の悩みは相談しにくくて、ただ我慢をしていました」

「月経量が多く、大きなナプキンでも夜間交換が必要」おりに異変を感じる「通常とは違う出血がある」「お腹だけが出てきた」「性交渉でいつもと違う痛みがある」などを、いつもとは違う状況があったら、放置しないで婦人科を受診してみよう。

診察した上で病気ではなかったとしても、実際に困っている症状や痛みがあるので、それから、それに対処することができます。結婚や妊娠などで人生が変化するタイミングの前に自分の体を知っておく意味でも、「婦人科に行ってみようかな」と思っただけを逃さないようにすることが大切です。

「これからは気になることがあったら受診したいと思います」

当院のスタッフは全員女性で、限られた人数で運営しています。診察は1人ずつで診察室に他の患者さんはいませんので、リラックスして診察を受けることができます。実際に若い女性が多く来院していますよ。



— 医療法人優美会 —

ゆうび
レディースクリニック

☎055-287-6366

甲府市上今井950-1 (リニアタウン医療モール内)

【診察受付時間】 9:00~12:30、14:30~18:30

【休診日】 水・土 午後、日、祝日

小児期から成人 ご高齢の方まで 年齢問わず

おひとりお一人に合わせた最適なケアを提案いたします

ちょっとしたことで！ まずはお気軽にご相談ください

